

総括質問

まちづくりと
商店街の振興対策は

舟倉 武則議員

舟倉武則議員 中心市街地活性化事業の現状と進捗状況はどうか。また、TMO活動の進捗状況は。

村町長 基本調査(A調査)北実施し、TMO(商工会)と一体となり、地元説明会を開催し、合意形成に努めている。地元の合意が整ったら区画整理事業調査(B調査)を実施し、基本計画、基本設計、資金計画等を策定するし、事業実施に向けた現況測量や事業計画の策定にも入るので、とにかく関係者の合意形成が不可欠である。

中心市街地活性化の

完成時期は

舟倉議員 今年度、TMO活

動の支援事業をどのように実施するのか、また、ソフト面とハード面との整合性と中心市街地活性化を何年度に、どのような形で達成させるのか。

町長 十四年度も引き続き、人材育成事業やコンセンサス形成、魅力ある商店街形成並びに事務局体制強化事業等に取り組みたい。

中心市街地活性化の完成時期は、合意形成が整ったら十六年度にB調査を行い、事業着工を十八年度に計画している。しかし、事業メニューや財政的な面もあるので、とにかく関係者の合意が第一条件である。

舟倉議員 県立公園への屋地中心街からのアクセス道の改良拡幅計画の具体的取り組みは。

町長 歴史ゾーンへ通じる道路として、国道二六七号から三二八号、八坂神社までの延長二四〇メートル、幅員十四メートルの整備を進めたいと考えており、県への要望するなど道路整備を早急に進めたい。

川内川の活用と

河川敷の有効利用策は

舟倉議員 水辺の楽校から下流の河川敷の公園化と有効な河川利用の計画策定はできないか。



活用が望まれる川内川(轟瀬付近)

町長 川原地区の河川敷は、元旦の泳ぎ初め、イカダ下り大会等のイベント広場として活用され、また、宮都大橋付近一帯は川魚等の釣り場として、年中利用されている状況である。洪水時には急流になることから、河川敷に設置できる施設ということを十分苦慮しながら、関係機関等に要望していきたい。

川を利用した
イベントの開催を

舟倉議員 湯田、時吉を経て山崎までの、河川を利用したイベント等の開催はできないか。

町長 流域の観光資源と連動した体験型のイベントが考えられるが、川内川のアクアフロント構想等との整合性も考慮して、近隣町も含めた広域的な取り組みを進めたい。また、安全面や漁業との関係もあるので、漁協や関連団体とも協議しながら検討を進めたい。